



2012年4月12日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット

みて、ためして、ホンモノに出会う

2012年 7月7日(土) 『レーシングシアター』誕生！

今年開場50年を迎えた鈴鹿サーキットに、モータースポーツを体感できる新アトラクション『レーシングシアター』がオープンいたします。モータースポーツのスピード、迫力、興奮を体感でき、ご家族と一緒に楽しんでいただけると同時に、お子さまにはモータースポーツを通して自発性を育むことを期待しています。様々なレースを開催し、多くのお客様に感動していただいた鈴鹿サーキットが、ここに新しい感動を提供いたします。



■はじめに	P.2
■ロケーション	P.3
■レーシングシアター概要	P.4
■各エリア詳細	P.5-8
■環境への取り組み	P.9
■各種データ	P.9



はじめに

鈴鹿サーキット開場50年を迎え、 2012年3月、ジュニア専用カート「コチラレーシングカート」をオープンしました

鈴鹿サーキットはHondaの創業者本田宗一郎の「レースをやらなければクルマは良くならない」という想いと、その右腕としてHondaの発展を支えた藤澤武夫の「自動車ゆうえんちで、自分で操縦する楽しみを味わえるのりものだけにするんだ」という意思のもと、1962年9月20日に開場しました。以来鈴鹿8時間耐久ロードレースやF1日本グランプリなど様々なレースを通じて自動車業界の発展に寄与するとともに、ゆうえんちモトピアでは「操る喜び・家族で協力」をコンセプトにのりものを自社で開発。近年はお子さまが自ら操る事に加えて、ご家族と一緒に楽しめる「プッチタウン」や「モビパーク」の充実を進めるとともに、大人の方も本格的なモータースポーツ体験のできる「レーシングカート」の展開も行っていました。

2012年3月にはお子さまが気軽にモータースポーツを体感できるジュニア専用カート「コチラレーシングカート」をオープンいたしました。モトピアの中では最速の時速25kmを誇り、小学3年生から中学3年生(身長130cm以上)のお子さまが対象。ヘルメットやグローブを装着しピットインの仕方や各フラッグの意味を学び、レースの世界をリアルに体験し、ライセンスも取得できるものです。

モータースポーツのスピード、迫力、感動を安全に、楽しく体感できる 『レーシングシアター』誕生！

そして50年の節目にふさわしい施設、モータースポーツ体感アトラクション『レーシングシアター』が誕生します。音を振動で伝える体感音響システムや特殊効果と幅19mのワイドスクリーンを用いて、レーシングドライバーが実際に見て感じる圧倒的なスピード感と迫力を全身で体感できる「メインシアター」を中心に、モータースポーツをリアルに感じていただける様々なアクティビティで、お子さまから大人の方までご家族と一緒に楽しめるアトラクションです。モータースポーツの持つ「スピード」「迫力」「感動」を、楽しく、安全に体感していただく事ができ、これまでレースに親しんでいたファンの方はもちろん、「プッチタウン」をはじめとする「モトピア」でのりものを操る喜びや楽しさに触れていただいていた皆様にも、ご家族揃って一歩進んだモータースポーツの世界を体感していただけます。

50年の歴史と培ってきた技術、経験と知恵を集め、“すぐそこに本物のモータースポーツがある”まさに鈴鹿サーキットならではのアトラクションが『レーシングシアター』です。新たなモータースポーツの世界と出会い、これまで以上にモータースポーツへの興味を抱いていただけることでしょう。

栄光を勝ち取るために一。モータースポーツには多くの魅力、感動があります

世界最高峰の自動車レースF1グランプリ、世界最高峰のオートバイレースMotoGP。F1はサッカーワールドカップ、オリンピックに並ぶ世界3大スポーツイベントと言われ、MotoGPもF1に匹敵する人気を誇っています。世界の頂点に挑むべく、多くの若者が様々なレースで腕を磨いています。

栄光を勝ち取るためには技術的な練習に加え、強靱な肉体づくり、精神力のコントロール、マネージメントなど、様々な能力が必要となり、さらにはチームの総合力も勝敗を左右する要因となります。驚異的なスピード、圧倒的な迫力、そして多くの人々とともに目標を勝ち取る感動……。モータースポーツはこれだけでは語りきれないほど多くの魅力を持っています。その魅力を『レーシングシアター』で身近に、リアルに感じていただくことができます。



ロケーション

モータースポーツ体感型アトラクション『レーシングシアター』は、下記マップ点線内の「GPフィールド」に登場いたします。GPフィールドは3月にオープンした「コチラレーシングカート」や「アドバンスカート」もあるエリアで、鈴鹿8時間耐久ロードレースやF1日本グランプリを開催する国際レーシングコースに最も近く、“本物”をより近くに感じることのできるエリアです。



2012年7月7日(土)
『レーシングシアター』誕生!





レーシングシアター概要

『レーシングシアター』では、各エリアを体験しながら段階的にモータースポーツの世界を感じていただけます。1階の「エントランスホール」に展示されたレーシングマシンを見ながら2階へ進むと「インフォメーション」に到着。その先にはモータースポーツを感覚で楽しむ「フィール・ザ・モータースポーツ」、ピットガレージを再現した「ウェイティングガレージ」があります。そしてメインコンテンツは迫力の大画面映像に加え、音と振動により全身でモータースポーツを体感できる「メインシアター」です。シアターをご覧いただいた後はペダルやハンドル操作、判断能力や動体視力など、レーシングドライバーやライダーに欠かせない能力を実際に体験できる「ディスカバーモータースポーツ」、鈴鹿サーキットで生まれた伝説のレースや、エピソードを紹介する「レジェンドオブ鈴鹿」があり、それぞれのエリアでご家族揃ってモータースポーツを存分に体感していただけます。

②インフォメーション

ゆうえんちモトピアの情報、レーシングコースを走行しているマシンやスケジュールなどの情報も確認することができます。

⑦レジェンドオブ鈴鹿

鈴鹿サーキットで生まれた伝説のレースやそのエピソードを、実車と合わせ映像とともに紹介します。

⑥ディスカバーモータースポーツ

レーシングドライバーやライダーの「技術力に挑戦」、「心肺能力に挑戦」、「判断力に挑戦」、「動体視力に挑戦」など10個のアクティビティ。レーシングマシンの各装備や搭乗ポジションを体験するコーナーなどが設置されています。

③フィール・ザ・モータースポーツ

直観的にモータースポーツを感じることができるエリアです。奥に進むにつれ、少しずつそのモータースポーツのイメージが膨らみます。

④ウェイティングガレージ

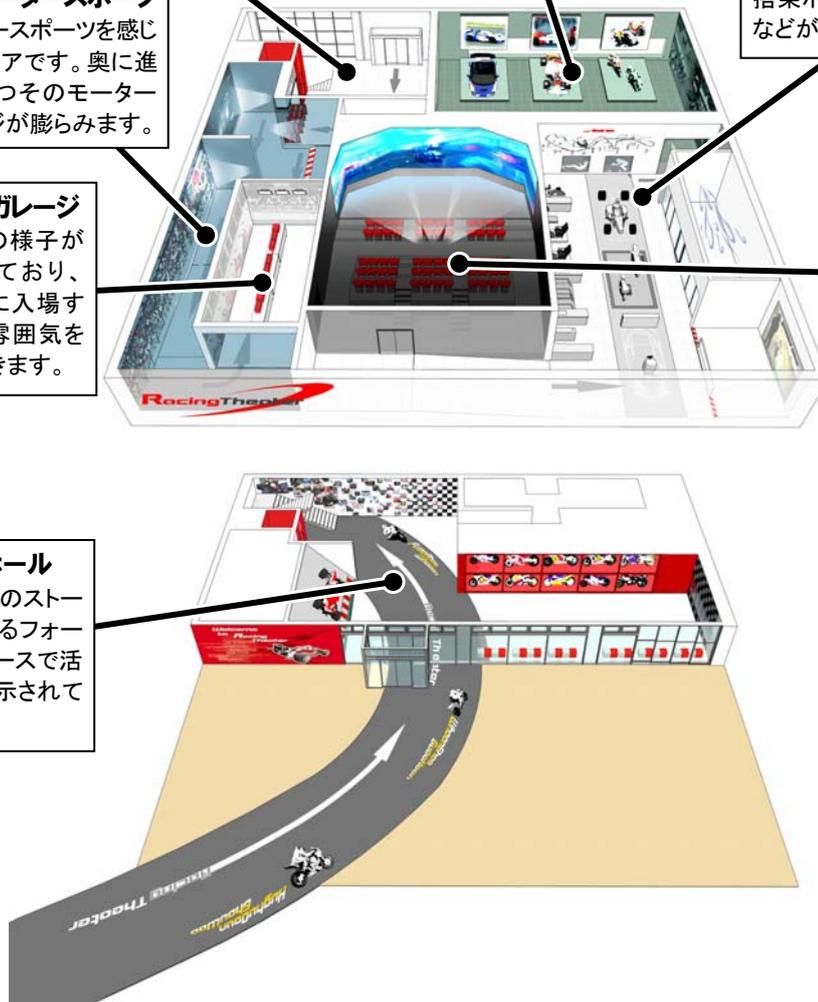
ピットガレージの様子が忠実に再現されており、「メインシアター」に入場する前に、ピットの雰囲気を体感することができます。

⑤メインシアター

60席あるモーションシートはレーシングマシンにも使用されるようなバケットタイプを採用。ストーリーに連動して様々な特殊効果をお楽しみいただけます。ワイドスクリーンと体感音響システムで、レーサーが実際に見て感じる世界に限りなく近づく事ができます。

①エントランスホール

「メインシアター」のストーリーで主人公が乗るフォーミュラマシンや、レースで活躍したバイクが展示されています。





各エリア詳細

1階

① エントランスホール

大きなタイヤゲートをくぐると、目の前に『レーシングシアター』が見えてきます。建物内に進むにつれ、コーナリング中のワンシーンを切り取った3台のバイクモニュメントが目に入り、『レーシングシアター』へ歩を進めながら、レーシングコースを駆け抜ける気分を味わうことができます。

建物内に入ると、そこは「エントランスホール」。「メインシアター」のストーリーで主人公が乗るフォーミュラマシンや、過去の2輪レースで活躍した年代別のバイクなど、様々なマシンが出迎えます。



外観(イメージ)



エントランスホール(イメージ)

2階

② インフォメーション

「エントランスホール」から2階に上ると「インフォメーション」に到着。そこはゆうえんちモトピアの情報だけでなく、その日にコースを走行しているマシンやスケジュールなど、国際レーシングコースの情報も確認することができます。
※「インフォメーション」へのアクセスは階段に加え、車椅子やベビーカー優先のエレベータも設置されています。



インフォメーション(イメージ)

③ フィール・ザ・モータースポーツ

何もない壁に映し出される、風をあらわす1本の線。どんどん線が増え形成される流線型のマシン……

「フィール・ザ・モータースポーツ」は、直観的にモータースポーツを感じることができるエリアです。奥に進むにつれ、少しずつそのイメージが膨らみます。



フィール・ザ・モータースポーツ(イメージ)

④ ウェイティングガレージ

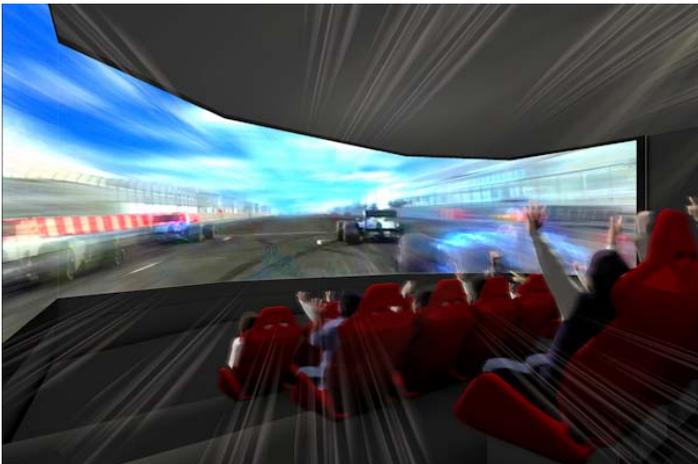
「フィール・ザ・モータースポーツ」を抜けると、そこはピットガレージを忠実に再現したエリア「ウェイティングガレージ」です。レースが始まる前、レーシングチームのスタッフが慌ただしくマシンの調整を行っている様子が再現されており、レースを体感できる「メインシアター」に入場する前に、ここでレーススタート前の緊張感を体感することができます。



ウェイティングガレージ(イメージ)

⑤メインシアター

『レーシングシアター』のメインコンテンツとなる「メインシアター」では、モーションシートとワイドスクリーンで圧倒的なスピード感と迫力を感じていただけます。60席あるモーションシートは実際のレーシングマシンに使用されているようなバケットタイプ(体を包み込むような形状のシート)を採用。音を振動で体に伝える体感音響システムがストーリーに連動して振動します。スクリーンは幅19mあり、ワイドスクリーンと体感音響システムに加えエアースhotsやミストなどの特殊効果を全身で体感でき、レーシングドライバーが実際に見て感じる世界に限りなく近づく事ができます。



メインシアター(イメージ)

少年はある日、レースが行われている鈴鹿サーキットに遊び来た。

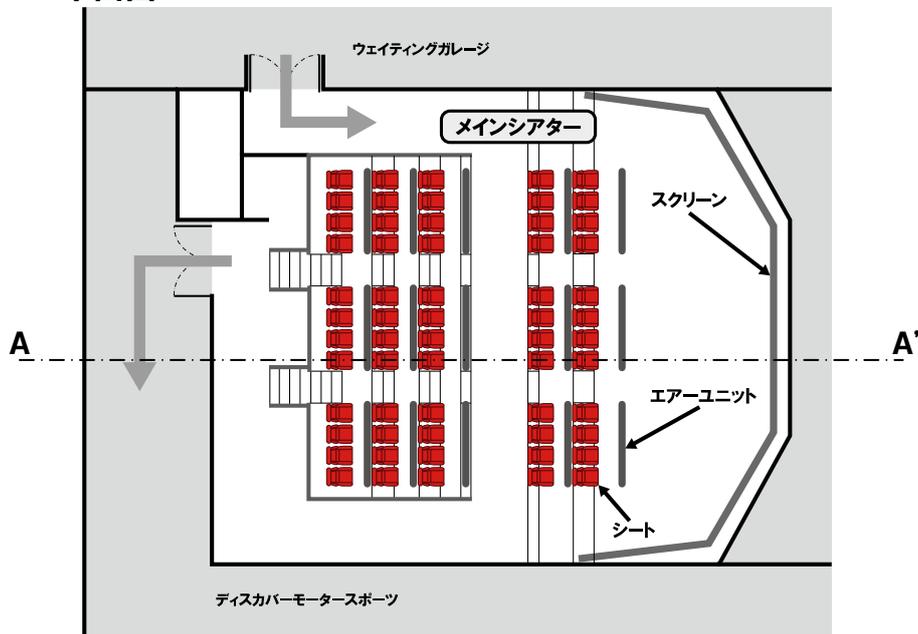
ドライバーを見つめる少年。
その視線に気づき、少年と目が合う。

そこから少年の視点はドライバーの視点と重なり、レースの世界にシンクロする。

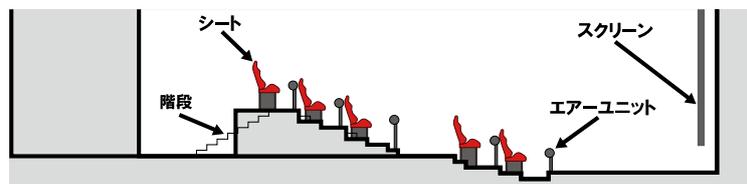
スターティンググリッド。高鳴る鼓動……

迫りくる困難を乗り越え優勝を目指すレース。
そこで少年が感じた事とは……

平面図



A-A' 断面図



⑥ ディスカバーモータースポーツ

「メインシアター」でレースを体感したら、次はモータースポーツに必要な能力や実際のマシンなどを体験できる「ディスカバーモータースポーツ」へと進みます。ペダル操作やハンドル操作に挑戦する「技術力に挑戦」や、「心肺能力に挑戦」、「判断力に挑戦」、「動体視力に挑戦」など、レースをするうえで必要な身体能力に挑戦するコーナー。またレーシングカーのハンドル、タイヤ、ウイング、ドライビングポジションや、バイクのライディングポジションを体験するコーナーなども設置され、モータースポーツの世界を体験していただけます。



ディスカバーモータースポーツ(イメージ)

⑦ レジェンドオブ鈴鹿

「ディスカバーモータースポーツ」を抜けると「レジェンドオブ鈴鹿」に到着。鈴鹿サーキットで生まれた伝説のレースやそのエピソードを映像とともに紹介し、モータースポーツに懸ける人々の想いを感じていただけるエリアです。



レジェンドオブ鈴鹿(イメージ)

【体験内容一覧】

● 集中力に挑戦

映像に合わせ体を使ったマシンのコントロールを、ご家族揃って体験できる。

● 精神力に挑戦

レース中にマシンやドライバー、ライダーにあたる風を体験できる。

● 技術力に挑戦-1

サーキット走行映像とともに画面に表示される指示に従いアクセル・ブレーキペダルを操作できる。

● 技術力に挑戦-2

サーキット走行映像とともに画面に表示される指示に従いハンドルを操作できる。

● 心肺能力に挑戦

自転車ペダルを漕いで、サーキット走行映像とともに画面に表示されるドライバーやライダーの心拍数に自分の心拍数を近づける。

● 判断力に挑戦

サーキット走行画面上でアクシデントが発生すると無線とテロップで操作指示が出される。その指示に従い、手または足でボタンを素早く操作する。

● 動体視力に挑戦

メインストレート走行画面上に表示されるサインボードを読み取り回答する。

● マシン体験-1

レース時の重さを再現したハンドル、および上下に動かせるリアウイングを設置。ハンドル操作の重さ、ウイング本体の軽さを体験できる。

● マシン体験-2

バイクにまたがり、ライディングポジションを体験できる。

● マシン体験-3

フォーミュラカーのcockpit搭乗体験が行える。またマシンに装着されたレイン(雨天時に装着する排水用の溝のあるタイヤ)、スリック(排水用の溝がないタイヤで、雨天では使用しない)それぞれ使用前と使用後のタイヤを見て、触って確認できる。



環境への取り組み

鈴鹿サーキットは環境への取り組みの一環として、これまでソーラーパネルの設置を進めてまいりました。今回の『レーシングシアター』におきましてもさらなる環境への取り組みを進めるため、「株式会社ホンダソルテック製」ソーラーパネルを建物の屋上に設置し、館内の電力として使用いたします。



各種データ

■レーシングシアター全体

項目	内容
オープン	2012年7月7日(土)
料金	800円／1人(税込)。モトピアパスポート利用可
建設期間	2012年1月17日着工 6月中旬竣工予定
収容人数	540人
展示マシン数	13台 ※展示内容により異なります
エレベータ	1機。定員13名。

■メインシアター

項目	内容
シアター上映時間	約4分
座席数	60席
車椅子席数	4席
スクリーンサイズ	19m × 3.5m
体感音響システム	ACOUVE社製VISICシステム。 設置スピーカー：6台。および5.1chサラウンドシステム。
モーションシート	バケットシート：ACOUVE社製VISICシート(特注) モーション装置：ACOUVE社製エア駆動式モーションシステム 特殊効果：エアショット、ミスト

■ディスカバーモータースポーツ

項目	内容
体験コーナー数	10